



未来ある子供たちに

生活技術力の向上を！

危険を取り除くことが

危険を呼ぶことにもなる。

危険な経験は知識に変わり

事故から守るスキルとなる。

第五回 東北工業大学 製品安全シンポジウム 2018年11月17日(土) 午後1時～4時

参加費 PL研究学会会員・学生:無料

一般:資料代500円(受付時にお支払下さい)

東北工業大学一番町ロビー 2階ホール

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル

未来ある子供たちに生活技術力の向上を！

第5回 2018 東北工業大学製品安全シンポジウム

これまで、製品安全シンポジウムでは「つくり手」「つなぎ手」「つかい手」の立場から製造物責任や製品安全を考えてきました。昨年度は、「製品安全」と「消費者教育」について取り上げ、ディスカッションをいたしました。

特に子どもを対象とした教育について、「包丁を使えない」、「火を使わない」、「バーチャルな体験しかない」などで本当によいのか、様々な議論がされています。多くの体験を通して感覚を磨き成長する子どもに対し、「安全にモノを使う」、「事故を起こさない」ために、「危険なものは使わせない」、「危険なものを生活から取り除く」という対処で事故を防止できるでしょうか。「危険」を体験しない子どもは、「危険」を予測したり、「事故」を回避する知識やスキルが身につけていない恐れがあります。

今回のシンポジウムでは、子どもたちの生活技術力を高めるための取り組みについて、製品を供給する立場、教育をする立場から現状や課題を紹介していただき、会場の皆様とも御一緒に意見交換、情報共有を行います。

開催日時：11月17日（土）受付開始 13時

開催場所：東北工業大学一番町ロビー 2階ホール 定員80名

資料代：一般500円 学生・PL研究学会会員 無料

第1部 13時30分～14時10分

(1)挨拶 ライフデザイン学部学部長 菊地良寛

一般社団法人 PL 研究学会会長 大羽宏一様

(2)問題提起 実行委員会 伊藤美由紀准教授

休憩 情報交換会 14時10分～14時40分

名刺交換にご活用頂きます。

第2部 14時40分～16時

(3)シンポジウム

・認定向山こども園 副園長 木村 創先生

・仙台城南高等学校 探究科長 小田浩一先生

・公) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 東北支部支部長 大西二郎様

・宮城県生活協同組合連合会 常務理事 加藤房子様

・NPO法人日本テクニカルデザイナーズ協会会長 渡辺吉明様

意見交換（40分）会場発言を募ります。

コーディネーター 東北工大 伊藤美由紀准教授

(4)閉会挨拶 中島 敏実行委員会委員長

■お申し込みは本紙をFAX、またはホームページから。<http://aplics.org>

分かりやすく
ご記入ください。

ご氏名		
住所 〒		
連絡先電話番号	勤務先	所属（職業）
E-mail		

企画立案 東北工業大学製品安全シンポジウム実行委員会

事務局 982-8588 仙台市太白区二ツ沢6番

東北工業大学ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科 中島研究室気付

事務局 FAX 022-247-8042